

自然にやさしい
DAIE

小型合併処理装置
処理対象人員：5～50人

ダイエー浄化槽



大栄産業株式会社

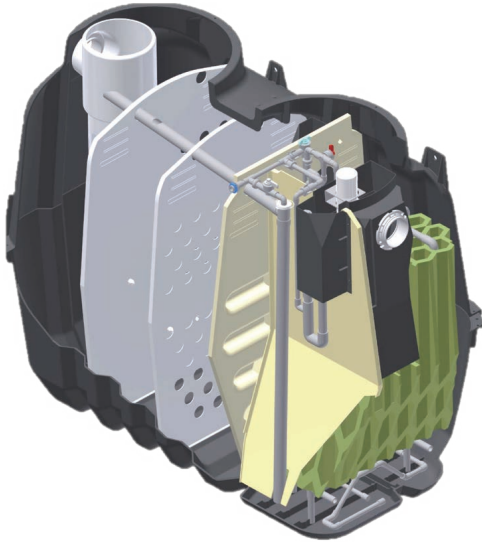
	型 式	処理対象人員	放流水質 (mg / ℓ 以下：日平均値)	掲載ページ
コンパクト型 窒素除去付	FCHⅡ型	5・7・10人	BOD 20 mg / ℓ T-N 20 mg / ℓ SS 20 mg / ℓ COD 30 mg / ℓ	P2
窒素除去型	FCX-CⅢ型	12～50人	BOD 20 mg / ℓ T-N 20 mg / ℓ SS 20 mg / ℓ COD 30 mg / ℓ	P3
高度処理型	FDR 型	5・7・10人	BOD 10 mg / ℓ T-N 10 mg / ℓ SS 10 mg / ℓ COD 20 mg / ℓ	P4
リン除去付 高度処理型	FDP型	5・7・10人	BOD 10 mg / ℓ SS 10 mg / ℓ T-N 10 mg / ℓ T-P 1 mg / ℓ	P5
高度処理型	FDN 型	14～50人	BOD 10 mg / ℓ T-N 10 mg / ℓ SS 10 mg / ℓ	P6

ダイエーFCHⅡ5.7.10型

横向流夾雑物除去接触ろ床循環方式

■設計条件

	流入水質	放流水質
BOD	200mg/L	20mg/L以下
	除去率：90%以上	
COD	100mg/L	30mg/L以下
S S	160mg/L	20mg/L以下
T - N	45mg/L	20mg/L以下



エコマーク認定浄化槽

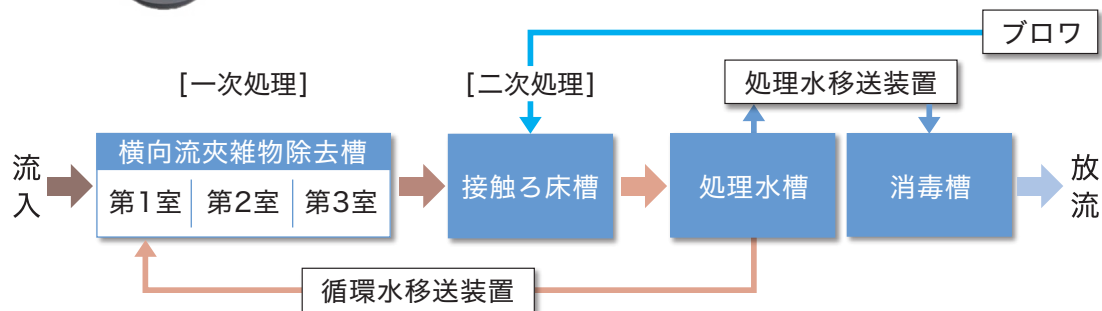
特長

オリジナル技術で、高効率な安定した処理を実現

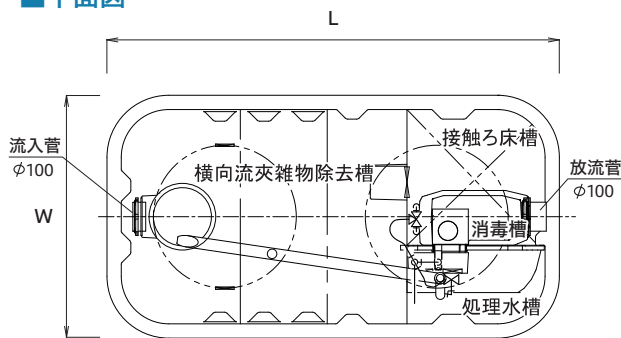
- 一次処理において嫌気ろ材を採用しない「横向流夾雑物除去方式」を採用。
- 二次処理の接触ろ床方式を改良した事でより安定した処理性能を発揮します。

シンプル構造を極める事で直感的で簡単な維持管理作業を実現

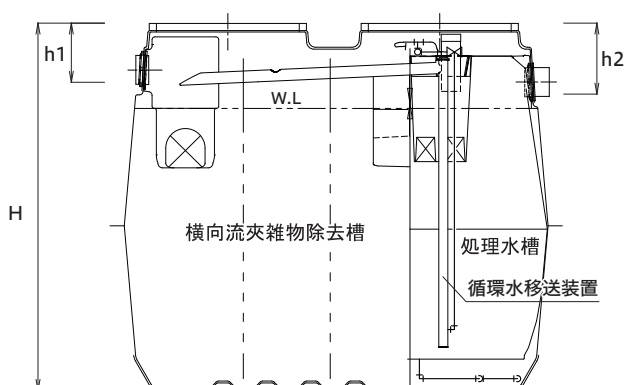
- シンプルかつ作業性の高い構造で、保守点検と污泥引拔がとても簡単です。
- 散気管の調整用バルブを2つにすることで、ろ材洗浄手順を直感的かつ、スムーズに行えます。



■平面図



■断面図



■仕様表

型 式			FCHⅡ-5型	FCHⅡ-7型	FCHⅡ-10型
有効容量 (m³)	横向流 夾雑物 除去槽		1.074 (0.429) (0.346) (0.299)	1.471 (0.590) (0.461) (0.420)	2.071 (0.828) (0.626) (0.617)
	接 触 ろ 床 槽		0.373	0.501	0.681
	処 理 水 槽		0.141	0.215	0.291
	消 毒 槽		0.015		0.021
	総 容 量		1.603	2.202	3.064
	寸 法 (mm)	全 長	自 然 放 流	1,900	1,920
放流ポンプ槽付			2,410	2,430	3,130
全 幅		1,020	1,320		
全 高 H ※1		1,550			
流 入 管 底 ※1		250			
放 流 管 底 ※1		300			
流 入 管 径		φ100			
放 流 管 径		φ100(φ30)			
マ ン ホ ー ル		φ600×2(φ450×1)			
ブロワ	方 式		電磁式		
	電 源 (V)		AC100		
	送 風 量 (L / 分)		60	80	100
	消 費 電 力 (W)		35	51	71
	口 径 (A)		13		
本 体 重 量 (kg) ※2			150(175)	180(205)	300(335)

※1 マンホール上端からの距離となります。

※2 参考重量となります。

●表中の()は放流ポンプ槽付きの管底・管径となります。

ダイエーFCX12CⅢ～50CⅢ型

分離嫌気ろ床担体流動方式

■設計条件

	流入水質	放流水質
BOD	200mg/L	20mg/L以下
	除去率：90%以上	
COD	100mg/L	30mg/L以下
S S	160mg/L	20mg/L以下
T - N	45mg/L	20mg/L以下

特長

【環境にやさしく!】

・窒素除去能力(放流水質T-N20mg/L)を追加しました。

【施工期間の減少!】

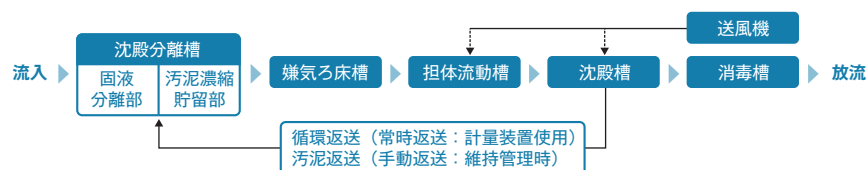
・エア配管は1系統のシンプル設計。

【簡単な維持管理!】

・バルブはたった2つのシンプル設計。

放流水質

項目	(財)日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
B O D	20 mg / ℓ	20 mg / ℓ
C O D	30 mg / ℓ	30 mg / ℓ
S S	20 mg / ℓ	20 mg / ℓ
T - N	20 mg / ℓ	20 mg / ℓ



■各部寸法表、本体重量※()内はポンプ槽付

人槽	12	14	15	16	18	20	21	25	28	30
型式	FCX12CⅢ	FCX14CⅢ	FCX15CⅢ	FCX16CⅢ	FCX18CⅢ	FCX20CⅢ	FCX21CⅢ	FCX25CⅢ	FCX28CⅢ	FCX30CⅢ
全長[mm]	自然放流	2,800	2,800	3,470	3,470	3,470	3,370	3,600	4,210	4,210
	ポンプ槽付	3,350	3,350	3,990	3,990	3,990	3,920	4,120	4,730	4,730
全幅[mm]	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	2,000	2,000	2,200	2,200	2,200
全高[mm]	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980	1,980
流入管底	480	480	480	480	480	480	480	480	480	480
放流管底	580(160)	580(160)	580(160)	580(160)	580(160)	580(160)	580(160)	580(160)	580(160)	580(160)
流入・放流管径	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)
本体重量[kg]	600(630)	600(630)	680(710)	680(710)	680(710)	820(850)	820(850)	980(1,010)	1,170(1,200)	1,170(1,200)

■各槽容量表(m³)

沈殿分離槽	1.645	1.645	2.09	2.09	2.09	2.47	2.47	2.924	3.477	3.477
嫌気ろ床槽	1.344	1.344	1.763	1.763	1.763	2.074	2.074	2.491	2.983	2.983
担体流動槽	0.968	0.968	1.233	1.233	1.233	1.451	1.451	1.729	2.061	2.061
沈殿槽	0.686	0.686	0.846	0.846	0.846	0.99	0.99	1.218	1.436	1.436
消毒槽	0.037	0.037	0.037	0.037	0.037	0.052	0.052	0.052	0.075	0.075
総容量[m³]	4.68	4.68	5.969	5.969	5.969	7.037	7.037	8.414	10.032	10.032

■マンホール数※()内はポンプ槽付

φ450	2(3)	2(3)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)
φ600	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2

■送風機

風量[L/分]	80	80	100	100	100	120	120	150	150	150
消費電力[W]※	51/51	51/51	71/71	71/71	71/71	91/91	91/91	132/145	200/215	200/215
口径[A]	13	13	13	13	13	13	13	20	20	20

■各部寸法表、本体重量※()内はポンプ槽付

人槽	33	35	38	40	42	45	48	50
型式	FCX33CⅢ	FCX35CⅢ	FCX38CⅢ	FCX40CⅢ	FCX42CⅢ	FCX45CⅢ	FCX48CⅢ	FCX50CⅢ
全長[mm]	自然放流	4,310	4,310	4,850	4,850	4,510	4,950	4,950
	ポンプ槽付	4,820	4,820	5,360	5,360	5,020	5,460	5,460
全幅[mm]	2,200	2,200	2,200	2,200	2,400	2,400	2,400	2,400
全高[mm]	2,280	2,280	2,280	2,280	2,480	2,480	2,480	2,480
流入管底	580	580	580	580	580	580	580	580
放流管底	680(160)	680(160)	680(160)	680(160)	680(160)	680(160)	680(160)	680(160)
流入・放流管径	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)	φ125(φ30)
本体重量[kg]	1,380(1,410)	1,380(1,410)	1,510(1,540)	1,510(1,540)	1,810(1,840)	1,810(1,840)	1,960(1,990)	1,960(1,990)

■各槽容量表(m³)

沈殿分離槽	4.072	4.072	4.605	4.605	5.195	5.195	5.782	5.782
嫌気ろ床槽	3.45	3.45	3.989	3.989	4.465	4.465	5.014	5.014
担体流動槽	2.383	2.383	2.702	2.702	3.056	3.056	3.369	3.369
沈殿槽	1.649	1.649	1.83	1.83	2.006	2.006	2.229	2.229
消毒槽	0.075	0.075	0.104	0.104	0.104	0.104	0.104	0.104
総容量[m³]	11.629	11.629	13.23	13.23	14.826	14.826	16.498	16.498

■マンホール数※()内はポンプ槽付

φ450	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)	1(2)
φ600	2	2	2	2	2	2	2	2

■送風機

風量[L/分]	200	200	200	200	250	250	250	250
消費電力[W]※	200/215	200/215	200/215	200/215	225/225	225/225	225/225	225/225
口径[A]	20	20	20	20	20	20	20	20

※50Hz/60Hz

●放流先が浅い場合はオプションで放流ポンプ槽をご利用いただけます。 ●()は放流ポンプ槽付きの管底・放流管径・マンホール枚数となります。

●表中の全高、流入・放流管底は樹脂製簡易ロックマンホールの場合です。鋳鉄製及びFRP製ボルトロックマンホールの場合は20mm深くなります。

●表中の重量は参考重量です。出荷後の天候などにより重量が増える場合があります。 ●寸法は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページから取得可能です。

ダイエーFDR5.7.10型

嫌気ろ床担体流動循環方式

■設計条件

	流入水質	放流水質
BOD	200mg/L	10mg/L以下
	除去率：95%以上	
COD	100mg/L	20mg/L以下
S S	160mg/L	10mg/L以下
T-N	45mg/L	10mg/L以下



特長

- ・クラス最小ボディで全高1,550mm。
- ・掘削土量32%減で施工性アップ。(5人槽：当社従来品比)
- ・新開発の大型担体※1の採用で、トリプル10を実現。
- ・支柱レス仕様。※2 一ロブローで簡単施工。
- ・浄化槽省エネ基準に準拠した低出力ブローでランニングコストが安価。
- ・ブローはタイマ無し。バルブ2個のみで設定が簡単。
- ・シンプルかつオーソドックスな処理方式の採用で、メンテナンスも容易。

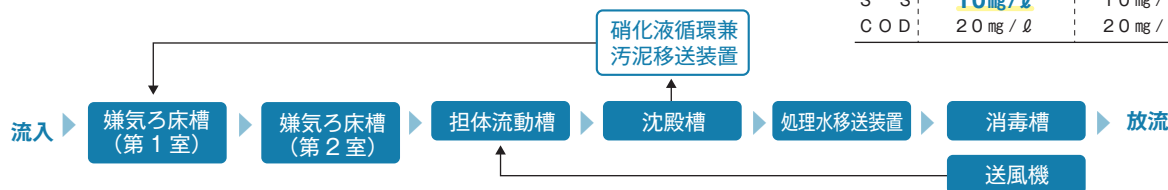
※1：現在、特許取得準備中

※2：総重量2t以下の駐車場および積雪1m以下の地域に限る

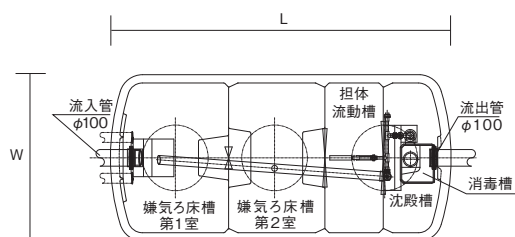


放流水質

項目	(財)日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値	全浄協登録値
BOD	10mg/L	10mg/L	10mg/L
T-N	10mg/L	10mg/L	10mg/L
S S	10mg/L	10mg/L	—
COD	20mg/L	20mg/L	—



■平面図



■各部寸法表 (mm)

名称・記号	人槽	5	7	10
全 巾(W)		1,140		1,700
全長(L)	自然放流	2,330	3,090	2,800
	放流ポンプ槽付	2,890	3,650	3,360
全 高(H)		※1	1,580	1,890
流入管底(h1)		※1	280	330
放流管底(h2)		※1	330(230)	430(320)
流入・放流管径		φ100(φ30)		

■各槽容量表 (m³) 本体重量 (kg)

嫌気ろ床槽第1室	0.775	1.070	1.635
嫌気ろ床槽第2室	0.739	1.049	1.519
担体流動槽	0.457	0.627	0.936
沈 殿 槽	0.352	0.420	0.729
消 毒 槽		0.023	
総 容 量	2.346	3.189	4.842
本 体 重 量※2	230	290	560

■仕 様

送 風 機	風 量 (L/分)	60	80	100
	消費電力 (W)	35	51	71
	口 径 (A)	13		
マンホール	φ450	3(4)	3(4)	1(2)
	φ600	—	1	2

※1：マンホール上端からの距離となります。

※2：本体重量は担体・マンホールを含んだ総重量を示します。

●放流先が浅い場合は、オプションで放流ポンプ槽をご利用頂けます。

●() は放流ポンプ槽付きの管底・放流管径・マンホール枚数となります。

ダイエーFDP5.7.10型

嫌気ろ床担体流動循環方式にリン除去装置を加えた方式

■設計条件

	流入水質	放流水質
BOD	200mg/L	10mg/L
	除去率：95%以上	
COD	100mg/L	20mg/L
S S	160mg/L	10mg/L
T - N	45mg/L	10mg/L
T - P	5mg/L	1mg/L



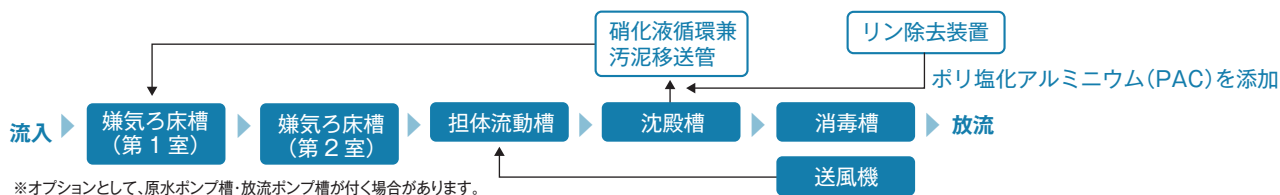
特長

- ・効果的、安定的なPAC注入方式
- ・実績のある現行モデルをベースに性能強化
- ・リン除去追加で小型浄化槽として最高度の処理機能

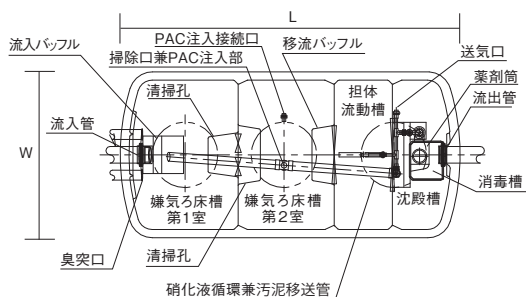


放流水質

項目	(財)日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
BOD	10mg/L	10mg/L
COD	20mg/L	20mg/L
S S	10mg/L	10mg/L
T - N	10mg/L	10mg/L
T - P	1mg/L	1mg/L



■平面図



■各部寸法表 (mm)

名称・記号	人槽	5	7	10
全 巾(W)		1,140		1,700
全長(L)	自然放流	2,330	3,090	2,800
	放流ポンプ槽付	2,890	3,650	3,360
全 高(H)		※1 1,580		1,890
流入管底(h1)		※1 280		330
放流管底(h2)		※1 330(230)		430(320)
流入・放流管径		φ100(φ30)		

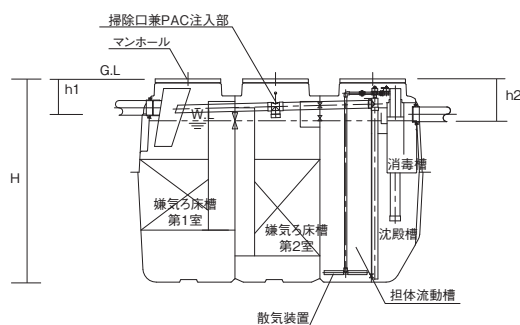
■各槽容量表 (m³) 本体重量 (kg)

嫌気ろ床第1室	0.775	1.070	1.635
嫌気ろ床第2室	0.739	1.049	1.519
担 体 流 動 槽	0.457	0.627	0.936
沈 殿 槽	0.352	0.420	0.729
消 毒 槽		0.023	
総 容 量	2.346	3.189	4.842
本 体 重 量※2	230	290	560

■仕 様

送 風 機	風 量 (L/分)	60	80	100
	消費電力 (W)	35	51	71
	口 径 (A)	13		
マンホール	φ450	3(4)	3(4)	1(2)
	φ600	—	1	2

■断面図



※1：マンホール上端からの距離となります。

※2：本体重量は担体・マンホールを含んだ総重量を示します。

●放流先が浅い場合は、オプションで放流ポンプ槽をご利用頂けます。

●() は放流ポンプ槽付きの管底・放流管径・マンホール枚数となります。

高度処理型

ダイエーFDN14Ⅳ～50Ⅳ

流量調整に嫌気濾床、担体流動ばっ気及び沈殿濾過を組み合わせた方式



・優れた流量調整機構
・大きな流量調整部

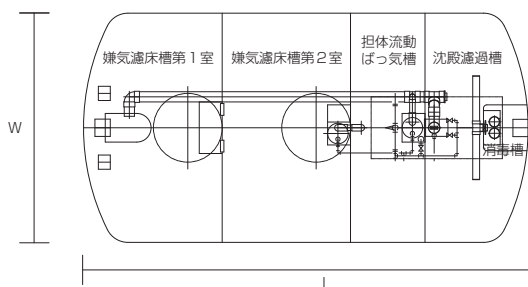
・高いBOD除去と高い硝化性能
・高いSS除去性能

・安定した窒素除去性能
・簡便な移送・循環水量調整

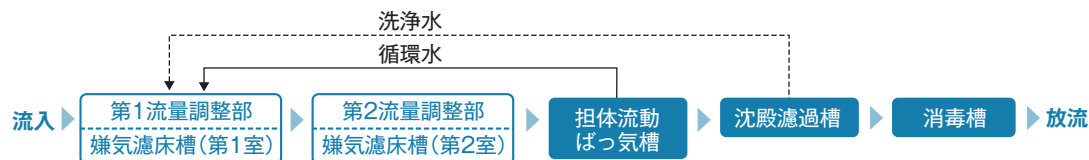
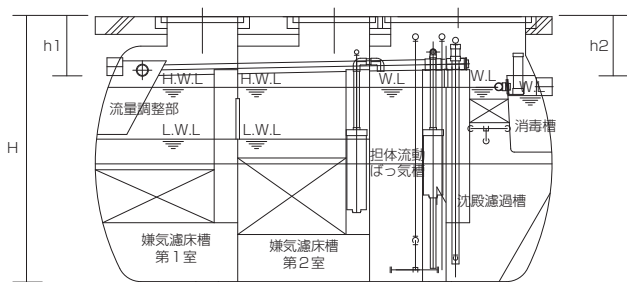
■設計条件

	流入水質	放流水質
BOD	200mg/L 除去率：95%以上	10mg/L以下
S S	250mg/L	10mg/L以下
T - N	50mg/L	10mg/L以下

■平面図



■断面図



放流水質

項目	(財)日本建築センター 性能評価値	国土交通大臣 認定値
B O D	10mg/L以下	20mg/L以下
T - N	10mg/L以下	20mg/L以下
S S	10mg/L以下	—

■各部寸法表 (mm)

名称・記号	人槽	14	18	21	25	28	30	35	40	45	50
全 巾 (W)				2,000					2,500		
全 長 (L)		3,880	4,300	4,700	5,200	5,700	4,400	4,850	5,300	5,750	6,300
全 高 (H)				2,290					2,800		
流 入 管 底				500					600		
放 流 管 底				670					770		
流入・放流管径							φ125				

■各槽容量表 (m³) 本体重量 (kg)

	1.721	2.051	2.278	2.553	2.813	3.333	3.750	4.128	4.640	5.071
流 量 調 整 部										
嫌気濾床槽 (第一室)	2.604	3.180	3.541	3.901	4.310	4.748	5.339	5.893	6.594	7.185
嫌気濾床槽 (第二室)	2.691	3.124	3.461	3.941	4.326	4.653	5.244	5.908	6.499	7.127
担体流動ばっ気槽	1.802	1.802	2.106	2.522	2.827	3.015	3.575	4.092	4.523	5.040
沈 殿 濾 過 槽	1.423	1.423	1.423	1.423	1.551	2.196	2.196	2.196	2.196	2.430
消 毒 槽	0.062	0.062	0.062	0.062	0.062	0.123	0.123	0.123	0.123	0.123
総 容 量	8.582	9.591	10.593	11.849	13.076	14.735	16.477	18.212	19.935	21.905
本 体 重 量	1,100	1,300	1,400	1,500	1,700	1,500	1,700	1,800	2,000	2,200

■仕 様 (一般仕様)

	風量 (L/分)	120	150	200	250	300	350	400
送風機	消費電力 (W)※	91/91	115/115	157/157	225/225	260/260	300/330	375/375
	口 径 (A)	13			20			
逆 洗 用	風量 (L/分)		60			100		
	消費電力 (W)※		35/35			95/95		
	口 径 (A)			13				
移 送 用	風量 (L/分)	30	40	60			80	
	消費電力 (W)※	22/22	27/27	35/35			51/51	
	口 径 (A)			13				
マンホール	φ600	2	3	1	2		2	
角 蓋	540×1145	1	1	2	2		1	
	850×1400	—	—	—	—		1	

※50Hz/60Hz

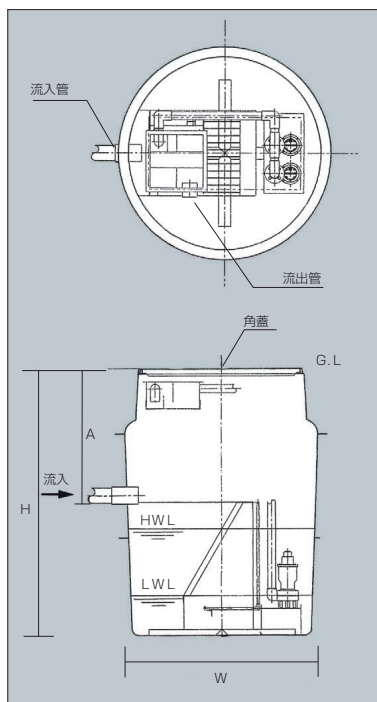
●寸法は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

●送風機の変更により、環境配慮型浄化槽となります。

認定書、型式適合認定書、型式適合認定シート、施工要領書、維持管理要領書はホームページからの取得も可能です。

〈オプション〉

〔原水ポンプ槽5～50人槽用〕



流入管底が深い場合や、設置場所の状況などで原水ポンプ槽を設置する場所があります。また槽内には、爽雑物を取る為のスクリーンや、沈殿物の腐敗を防ぐ為に散気装置を設けています。

流入水に油分が多量に含まれる場合は、油分分離槽を浄化槽の前に設置して下さい。

人槽	W(mm)	H(mm)	A(mm)	重量(参考)
5～50	φ1450	2070～2370	720～1380	210kg
12～50	φ2000	2770～3070	900～1650	465kg
	φ2500	2770～3070	900～1650	625kg

※重量はポンプ・蓋は含みません。

■深埋仕様

W(mm)	H(mm)	A(mm)	重量(参考)
φ2000	3080～4770	1660～3350	570～840kg
φ2500	3080～4770	1660～3350	730～1,150kg

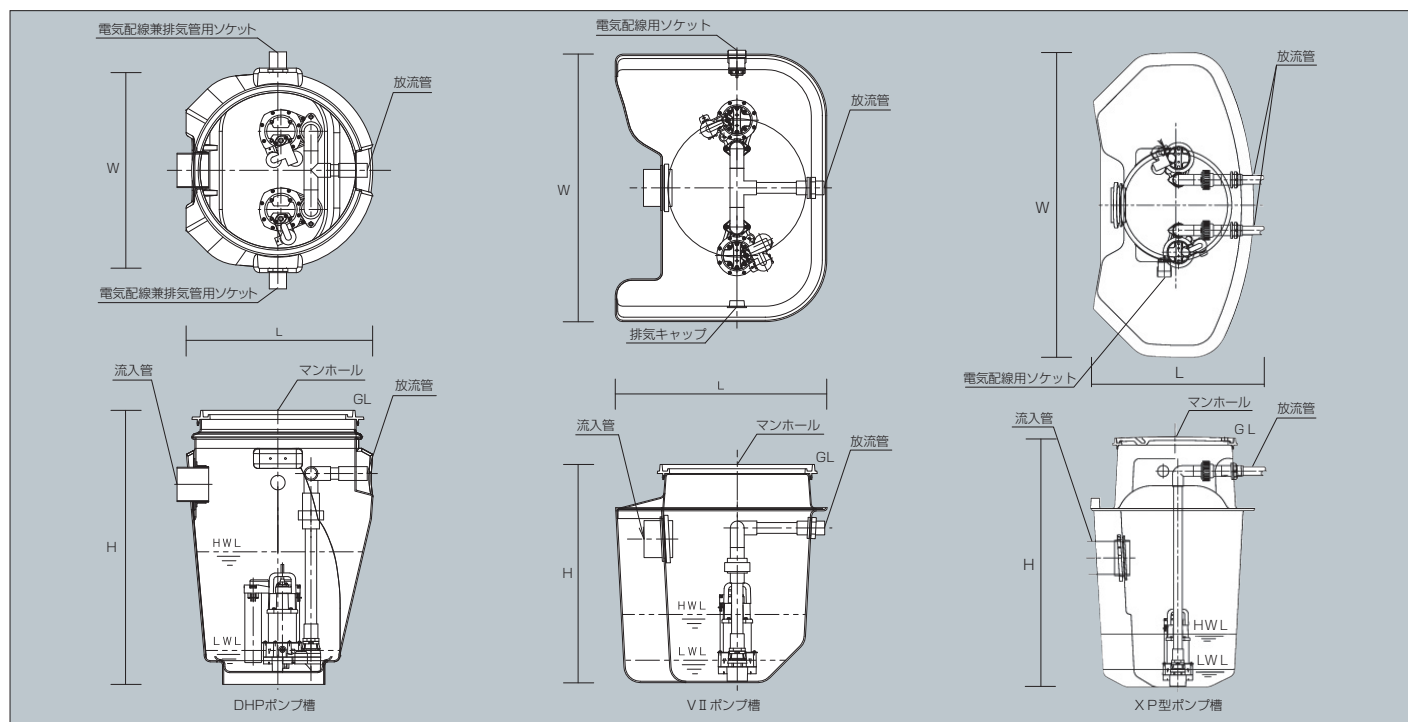
※重量はポンプ・蓋は含みません。

※流入管底がG.L.-1600を超える場合、槽内にタラップの設置が必要となります。

※施工時、根巻きコンクリートが必要となる場合があります。

詳しくは最寄りの弊社営業所までお問合せ下さい。

〔放流ポンプ槽〕



放流先の水路や排水溝が高く、逆勾配などで自然放流ができない場合に放流ポンプ槽を設けます。

人 槽	型式	寸 法			有効容量(m³)	重量(参考)
		W	H	L		
FCH II 5.7	DHP	650	911	620	0.040	25kg
FCH II 10	V II-8	890	726	703	0.051	35kg
FDR5.7, FDP5.7	V II-9	890	726	703	0.051	35kg
FDR10, FDP10	V II-10	890	803	703	0.051	22kg
FCX12～50C III	XP	1328	1059	698	0.074	30kg

※重量はポンプ・蓋は含みません。

※寸法等は予告なく変更することがありますので御了承下さい。

他にも品揃えておりますので、最寄りの営業所へお問い合わせください。

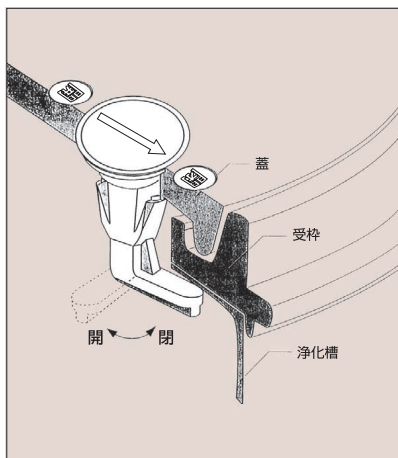
〈付属品〉

■PP製マンホール蓋



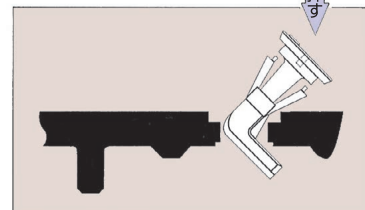
- 250Kの表示のものは車等の乗るところでは使用しないでください。
- 500Kの表示のものについては乗用車(2000c.c.以下)の対応品であり、2000c.c.を越える車の乗る可能性のあるところでは使用しないでください。
- 蓋の通常設置の場合はロックを必ず閉の状態になるようにしてください。
- ロックの破損・脱落が生じる事がありますので蓋の取扱いに注意してください。ロックの変形・破損・脱落等が生じた場合は速やかに交換してください。

ロックの機構説明図



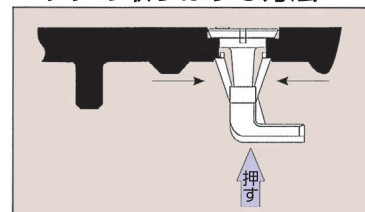
- ロック上部の↑マークを開に合わせるとロック下部が開の位置になり蓋が取り外せます。閉に合わせますとロック下部が閉の位置になり蓋が開けられなくなります。

ロックの取付け方法



※マンホールカバーの穴に、ロックを図のように差し込み強く押し込むとはまります。

ロックの取りはずし方法



※プライヤー等によりロックアンカー部を内側から矢印の方向にはさみ込み、指で、上方に押し上げればはずれます。

■鋳鉄製マンホール・鋳鉄製角蓋

マンホール



6トン用が標準品。
それ以上は20トン用
を揃えています。

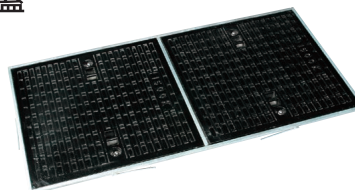
マンホールかさ上げ



マンホール枠

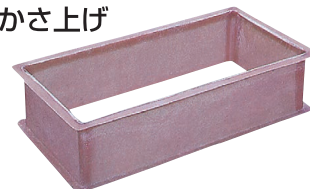


角蓋



6トン用が標準品。
それ以上は20トン用
を揃えています。

かさ上げ



■送風機



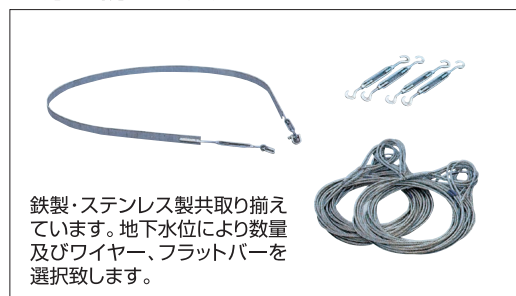
■フロートスイッチ



■配電盤



■浮上防止金具(ワイヤー・フラットバー)



鉄製・ステンレス製共取り揃えています。地下水位により数量及びワイヤー、フラットバーを選択致します。

■水中ポンプ



軽重量で、用途能力に応じて各種取り揃えています。

本書で使用しているマークには、以下のような意味があります。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



警告 ① 消毒剤による発火・爆発・有害ガス事故防止

- ① 消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤には、有機系の塩素剤と無機系の塩素剤の2種類があります。これらを一緒に薬剤受け(薬筒)に入れないでください。

留意：有機(イソシアヌル酸)系の塩素剤には、品名：ハイライト、ボンシロール、メルサン、マスター、ペースリッチなどがある。

無機系の塩素剤には、商品名：ハイクロン、トヨクロン、南海クリヤーなどがある。

- ② 消毒剤の取扱に際しては、目・鼻・皮膚を保護するため、ゴム手袋、防塵マスク、保護メガネなどの保護具を必ず着用してください。
- ③ 消毒剤を廃棄する場合は、販売店などにお問い合わせください。

発熱・火災の危険がありますので、消毒剤はごみ箱やごみ捨て場に絶対に捨てないでください。

留意：消毒剤の取扱上の詳細な注意事項は、現品の包装材に記載されていますので、お読みください。

これらの注意を怠ると発火・爆発・有毒ガスの生ずるおそれがあり、また、これらにより傷害を生ずるおそれがあります。



警告 ② 感電・発火事故防止

- ① ブロウのカバー・制御盤の扉は、開けないでください。
- ② ブロウ・制御盤の近く(約50cm)には、ものを置かないでください。
- ③ 電源コードの上には、ものを置かないでください。
- ④ 電源プラグは、ほこりが付着しやすいので、1年に1回以上は清掃してください。
- ⑤ ブロウ・ポンプ・制御盤などの電気機器が故障した場合は、維持管理業者または専門の工事業者に連絡し修理してください。

これらの注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。



警告 ③ 作業中の酸欠などの事故防止

槽内に入る場合は、必ず酸素濃度・硫化水素濃度を測定し、その安全を確かめてください。

また、槽内で作業をするときは必ず強制換気をおこなうこと。

このような注意を怠ると、人身事故(死亡事故)の発生するおそれがあります。



警告 ④ マンホール・点検口等からの転落・傷害事故防止

- ① マンホール・点検口の蓋は、必ず閉めてください。また、ロック機構のあるものは、必ずロックしてください。
- ② マンホール・点検口の蓋のひび割れ・破損などの異常を発見したら、直ちに**取り替えて**ください。
- ③ マンホールや角蓋に錆がある時は、除去して、エポタール塗装をしてください。
- ④ マンホール・点検口の蓋は、**子供にさわらせない**でください。

これらの注意を怠ると、転落・傷害の生ずるおそれがあります。



注意 ⑤ 荷重による器物破損・傷害事故防止

通常の埋設工事を行った浄化槽の上には、車などの重量物をのせないでください。

車などがのる場合には、特殊工事(①マンホール蓋は、安全荷重を考慮して選定する。②支柱などを補強する。)が必要になりますので、専門の工事業者にご相談ください。

これらの注意を怠ると、器物破損・傷害の生ずるおそれがあります。



注意 ⑥ 高所作業による転落・傷害事故防止

- ① 高所作業を行う際は必ず足場及び手摺を設置してください。
- ② 高所作業では、転落・転倒の危険がありますので必ず安全帯、安全ネット及び保護帽を設置並びにご使用ください。

これらの注意を怠ると、転落・傷害の生ずるおそれがあります。



注意 ⑦ リン除去装置の取扱い(リン除去型浄化槽の場合のみ)

- ① リン除去装置の扉(シャッター)を閉め忘れると、装置の盗難、雨水の侵入及び感電の恐れがあり、またリン除去装置内に貯留している凝集剤(ポリ塩化アルミニウム:以降PACと表します)に触れたり、動物が舐めたり、害虫が侵入する恐れがありますので、リン除去装置の扉(シャッター)は必ず閉めて、施錠してください。
- ② PACは危険物ではありませんが、酸性ですので、目や粘膜に直接触れると刺激を感じることがあります。PACが付着した場合は直ちに多量の水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。

留意：リン除去装置の電源は、防水型接地端子付コンセント(抜け防止機能付)としてください。また、ほこりなどが付着した場合に、**接続が不完全な場合は感電や火災が生じるおそれがありますので、ご注意ください。**

浄化槽を設置される方へ

1. 都道府県に登録されている専門の(浄化槽設備士の資格をもつ)工事業者とつぎのような事項について打ち合わせてください。

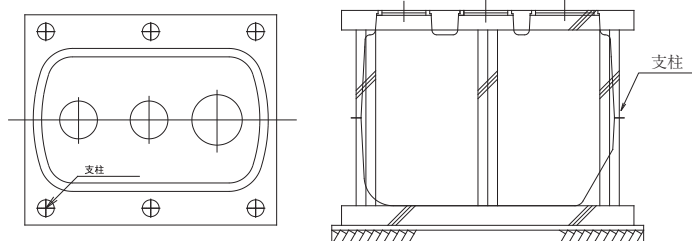
*浄化槽の機種を選定、処理対象人員(処理水量)、放流先及び放流水質の規制値

*設置場所、特殊工事の有無

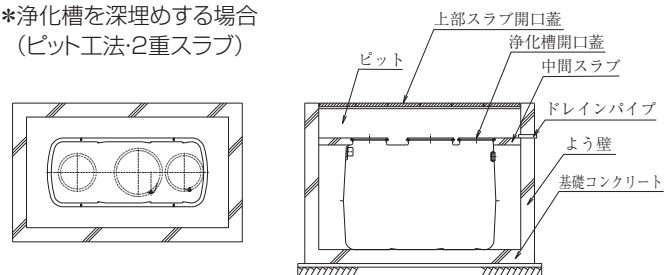
*設置届けなど

(1)特殊工事を必要とする場合

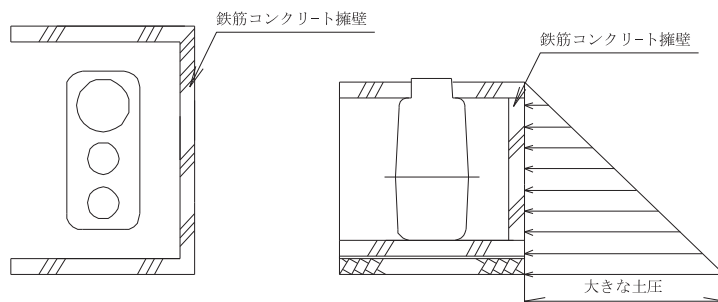
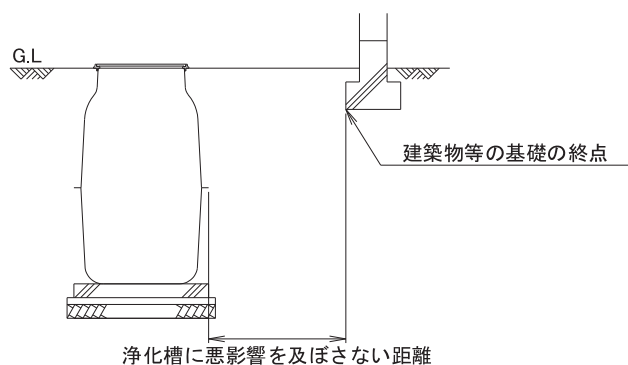
*設置場所を、車庫・駐車場などに使用する場合



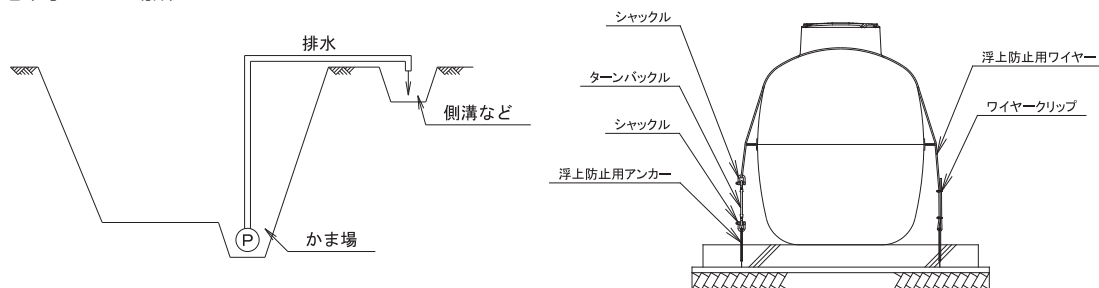
*浄化槽を深埋めする場合
(ピット工法・2重スラブ)



*設置場所が、断崖・川べり、交通量の多い道路ばた、軟弱地盤、多雪地帯、近隣の建造物の荷重(側圧)が影響する場所など



*地下水がでる場所



(2)浄化槽工事着手の制限について

*型浄化槽は設置届けが受理された日から10日間経過した後、工事に着手してください。(この期間は、受理当日の初日は計算しない)

2. 浄化槽設置工事は、都道府県に登録されている専門の(浄化槽設備士の資格をもつ)工事業者に依頼してください。

3. 浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている「保守点検業者」と契約してください。

保守点検は、浄化槽管理士の資格をもった人が行わなければなりません。

浄化槽の汚泥引き抜きなどの清掃は、市町村長の許可を受けた浄化槽清掃業者に依頼してください。…(有料)回数1年/1回以上

4. 浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないでください。

これを守らないと、消毒剤から塩素ガスが発生し空気中の水分と反応し、塩酸を生じ、このために金属類を腐食するおそれがあります。

※「取扱説明書」、「施工要領書」、「維持管理要領書」の必要な方は弊社窓口までご連絡ください。

人槽の算定基準・早見表

●建築用途別処理対象人員算定基準表（JIS-A-3302・2000）

類似用途番号	建築用途			処理対象人員 (n)			5	7	10	14	18	21	28	30	33	35	38	40	43	45	48	50	
				算定式	算定単位																		
1	集合施設設関係	イ	公会堂・集会場・劇場 映画館・演芸場	n=0.08A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	62	87	125	175	225	262	350	375	412	437	475	500	537	562	600	625	
		ロ	競輪場・競馬場・競艇場	n=16C	n: 人員 (人) C: 総便器数 (個)	C	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	
		ハ	観覧場・体育館	n=0.065A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	76	107	153	215	276	323	430	461	507	538	584	615	661	692	738	769	
2	住宅施設設関係	イ	住宅	A≤130(戸)の場合 130(戸)<Aの場合	n=5 n=7	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	130以下	130超	2世帯住宅	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		ロ	共同住宅	n=0.05A	n: 人員 (人) ただし、1戸あたりのnが3.5人以下の場合には、1戸あたりのnを3.5人又は2人(1戸が1居室だけで構成されている場合に限り)とする。 A: 延べ面積 (m²)	戸 A	1	2	2	4	5	6	8	8	9	10	10	11	12	12	13	14	
		ハ	下宿・寄宿舎	n=0.07A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	71	100	142	200	257	300	400	428	471	500	542	571	614	642	685	714	
		ニ	学校寄宿舎 自衛隊キャンプ宿舎 老人ホーム・養護施設	n=P	n: 人員 (人) P: 定員 (人)	P	5	7	10	14	18	21	28	30	33	35	38	40	43	45	48	50	
		3	宿泊施設設関係	イ	ホテル 旅館	結婚式場又は宴会を有する場合 結婚式場又は宴会場を有しない場合	n=0.15A n=0.075A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	33	46	66	93	120	140	186	200	220	233	253	266	286	300
ロ	モーターホテル			n=5R	n: 人員 (人) R: 客室数	R	1	1	2	2	3	4	5	6	6	7	7	8	8	9	9	10	
ハ	簡易宿泊所・合宿所 ユースホテル・青年の家			n=P	n: 人員 (人) P: 定員 (人)	P	5	7	10	14	18	21	28	30	33	35	38	40	43	45	48	50	
イ	病院 養護所 伝染病 業務用の厨房設備又は洗濯設備を設ける場合 業務用の厨房設備又は洗濯設備を設けない場合			n=8B n=11.43 (B - 300) + 2,400 n=5B n=7.14 (B - 300) + 1,500	n: 人員 (人) B: ベッド数 (床)	B	— — 1 —	— — 1 —	— — 2 —	— — 3 —	— — 4 —	— — 5 —	— — 6 —	— — 7 —	— — 8 —	— — 9 —	— — 10 —	— — 11 —	— — 12 —	— — 13 —	— — 14 —	— — 15 —	— — 16 —
				ロ	診療所・医院	n=0.19A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	26	36	52	73	94	110	147	157	173	184	200	210	226	236	252
		イ	店舗・マーケット 百貨店 一般の場合 汚濁負荷の高い場合 汚濁負荷の低い場合	n=0.075A n=0.15A n=0.72A n=2.94A n=0.55A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	66 33 6 1 9	93 46 9 2 12	133 66 13 3 18	186 93 19 4 25	240 120 25 6 32	280 140 29 7 38	373 186 38 9 54	400 200 41 10 60	440 220 45 11 63	466 233 48 11 69	506 253 52 12 72	533 266 55 13 78	573 286 59 14 81	600 300 62 15 87	640 320 66 16 90	666 333 69 17 92	
ニ	喫茶店			n=0.80A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	6	8	12	17	22	26	35	37	41	43	47	50	53	56	60	62	
イ	玉突場・卓球場 パチンコ店 囲碁・将棋・カラオケ・マージャン・ラジコ デジャスコ			n=0.075A n=0.11A n=0.15A n=0.50A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	66 45 33 10	93 63 46 14	133 90 66 20	186 127 93 28	240 163 120 36	280 190 140 42	373 254 186 56	400 300 220 60	440 318 233 66	466 345 253 70	506 363 266 76	533 390 286 80	573 409 296 86	600 436 300 90	640 454 320 96	666 454 333 100	
				ホ	ゴルフ練習場	n=0.25S	n: 人員 (人) S: 打席数 (席)	S	20	28	40	56	72	84	112	120	132	140	152	160	172	180	192
		ヘ	ボーリング場	n=2.50L	n: 人員 (人) L: レーン数 (レーン)	L	2	2	4	5	7	8	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
		ト	バッティング場	n=0.20S	n: 人員 (人) S: 打席数 (席)	S	25	35	50	70	90	105	140	150	165	175	190	200	215	225	240	250	
		チ	テニス場	ナイター設備を設ける場合 ナイター設備を設けない場合	n=3S n=2S	n: 人員 (人) S: コート面数 (面)	S	1 2	2 3	3 5	4 7	6 9	7 10	9 14	10 15	11 16	11 17	12 19	13 20	14 21	15 22	16 24	16 25
6	娯楽施設設関係	リ	遊園地・海水浴場	n=16C	n: 人員 (人) C: 総便器数 (個)	C	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	
		ヌ	プール・スケート場	n= $\frac{20C + 120U}{8} \times t$	n: 人員 (人) C: 大便器数 (個) U: 小便器数 (個) t: 単位便器当たり一日平均使用時間 (時間) t=1.0~2.0																		
		ル	キャンプ場	n=0.56P	n: 人員 (人) P: 収容人員 (人)	P	8	12	17	25	32	37	50	53	58	62	67	71	76	80	85	89	
		ロ	ゴルフ場	n=21H	n: 人員 (人) H: ホール数 (ホール)	H	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	
		イ	サービスエリア 売店	便所 観光部 売店なし PA 観光部	n=3.60P n=3.83P n=2.55P n=2.66P n=2.81P	n: 人員 (人) P: 駐車まず数 (まず)		—															
ロ	駐車場・自動車庫				n= $\frac{20C + 120U}{8} \times t$	n: 人員 (人) C: 大便器数 (個) U: 小便器数 (個) t: 単位便器当たり一日平均使用時間 (時間) t=0.4~2.0																	
ハ	ガソリンスタンド				n=20	n: 人員 (人) 1 営業所当たり		—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
8	学校施設設関係	イ	保育所・幼稚園 小学校・中学校	n=0.20P	n: 人員 (人) P: 定員 (人)	P	25	35	50	70	90	105	140	150	165	175	190	200	215	225	240	250	
		ロ	高等学校・大学・各種学校	n=0.25P	n: 人員 (人) P: 定員 (人)	P	20	28	40	56	72	84	112	120	132	140	152	160	172	180	192	200	
		ハ	図書館	n=0.08A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	62	87	125	175	225	262	350	375	412	437	475	500	537	562	600	625	
9	事務所関係	イ	事務所	①業務用厨房設備を設ける場合 ②業務用厨房設備を設けない場合	n=0.075A n=0.06A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	66	93	133	186	240	280	373	400	440	466	506	533	573	600	640	666
		イ	工場 作業所 研究所 試験場	①業務用厨房設備を設ける場合 ②業務用厨房設備を設けない場合	n=0.75P n=0.30P	n: 人員 (人) P: 定員 (人)	P	6	9	13	18	24	28	37	40	44	46	50	53	57	60	64	66
11	1~10の用途に属さない施設	イ	市場	n=0.02A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	250	350	500	700	900	1050	1400	1500	1650	1750	1900	2000	2150	2250	2400	2500	
		ロ	公衆浴場	n=0.17A	n: 人員 (人) A: 延べ面積 (m²)	A	29	41	58	82	105	123	164	176	194	205	223	235	252	264	282	294	
		ハ	公衆便所	n=16C	n: 人員 (人) C: 総便器数 (個)	C	—	—	—	—	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	3	3	
		ニ	バスターミナル駅	P<100,000の場合 100,000 ≤ P < 200,000の場合 200,000 ≤ Pの場合	n=0.008P n=0.010P n=0.013P	n: 人員 (人) P: 乗客数 (人/日)	P	625	875	1250	1750	2250	2625	3500	3750	4125	4375	4750	5000	5375	5625	6000	6250

(注) (1) 二世帯住宅等の取り扱いについて
浴室及び台所が2つあり、実際もほぼ互いに独立した生活が送られている住宅 (いわゆる二世帯住宅) から排出される汚物を一つの尿尿浄化槽で処理する場合、それぞれの生活単位に応じた延べ面積に相当する処理対象人員を合計した数値とします。ただし、住宅の処理対象人員は10人を上限としており、10人を超えた場合にあっても処理対象人員は10人とする。

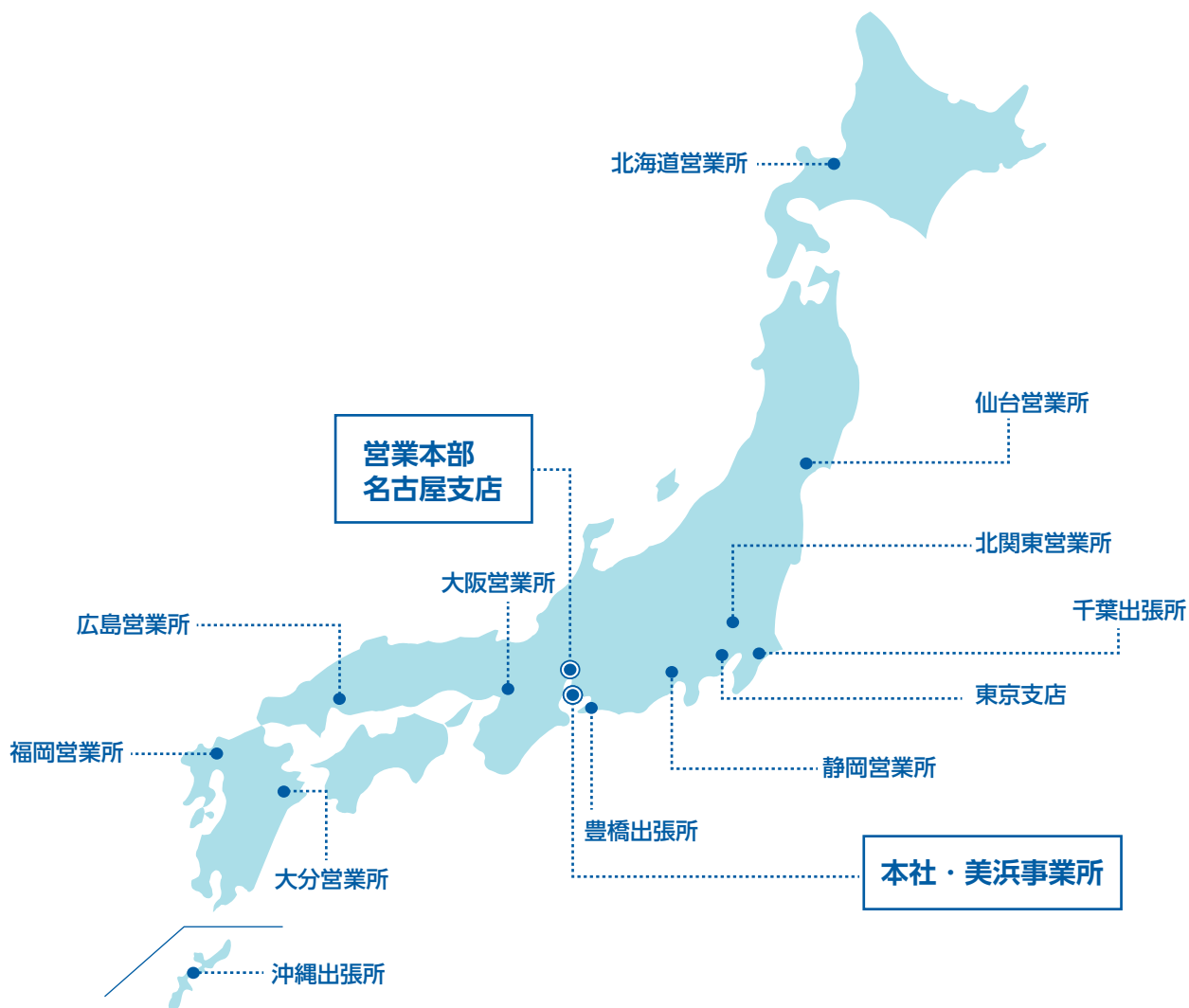
(2) 大便器数、小便器数及び面用便器数を合計した便器数。

(3) 居室とは、建築基準法による用語の定義でいう居室であって、居住執務、作業、集会、娯楽その他これらに類する目的のために継続的に使用する室をいう。ただし、共同住宅における台所および食事室を除く。

(4) 女子専用便所にあつては、便器数のおおむね1/2を小便器とみなす。

(5) 用途、雑居ビル等で人槽と汚水量が合致しない場合がありますので、ご注意ください。

(6) 浄化槽の機種および選定基準などについては、地区により行政指導内容が異なる場合がありますので、十分にご注意ください。



DAIE 大栄産業株式会社

URL <https://www.daie-industry.co.jp/>

「施工要領書」「維持管理要領書」はホームページからダウンロード可能です。

営業所の最新情報はこちらでご確認いただけます。

